

## 民間から飛び込んで2ヵ月

理事 早山 徹

4月1日、理事長から辞令を頂いて早くも2ヵ月経過した。まだ勉強中ということもあってピント外れになるかもしれないが、以下感じていることを述べたい。

## 1 モティベーション

「いかに研究の成果をあげるか」よりも「いかに予算を獲得するか」が行動のベースにあるように見える。これに「有意義なテーマに予算を付ける」システムが組み合わされれば健全なはずだが、意志決定の階層が増えてくると微妙に食い違ってくるのが常であり、当研究所のケースも決して例外ではない。独立行政法人化によって予算配分の権限が当研究所に委ねられようとしている現在、行動のベースを「いかに研究の成果をあげるか」にシフトしていく必要があると思う。

## 2 人的資源の活用戦略

予算の配分はある程度戦略的に行われているが、それを使う人的資源（特に職員）の活用については個々人の意

向を尊重するあまり、戦略性が欠けるケースが多い。研究所として大きな成果を目指すために、戦略的資源配分を行うとともに人事評価システムを見直す必要があると思う。

## 3 研究者間のコミュニケーション

研究所のレイアウトに影響されている面もあるが、研究者間のコミュニケーションがよいとは言えない。イノベーションには専門家同士のコミュニケーションが重要な役割を果たすと言われており、研究所外との関係も含め改善する仕組みを作りたい。

## モティベーション


Motivation：動機づけ、刺激、誘導

## コミュニケーション

Communication：伝達、報道、伝えること、通信、文通、情報、書信、手紙

## イノベーション

Innovation：革新、刷新、新機軸、技術革新

編集・発行／ 独立行政法人 防災科学技術研究所

〒305-0006 茨城県つくば市天王台3-1 ☎0298-51-1611(代)

企画課直通☎0298-52-0814 FAX0298-51-1622

E-mail◆plansec@bosai.go.jp インターネット◆http://www.bosai.go.jp

発行日／2001.7.2